



平成19年4月16日

各 位

会 社 名 ワイエイシー株式会社
代表者名 代表取締役社長 百瀬 武文
(コード番号 6298 東証第二部)
問合せ先 専務取締役 平井 雄一
(TEL. 042-546-1161)

平成19年3月期（連結・個別）通期業績予想に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年10月3日付「平成19年3月期（連結・個別）業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表しました平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期の連結業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	23,000	—	3,320	1,880
今回修正予想(B)	22,400	3,720	3,580	2,090
増減額(B-A)	△600	—	260	210
増減率	△2.6%	—	7.8%	11.2%
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	18,050	2,495	2,401	1,504

2. 平成19年3月期の個別業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	21,800	—	2,750	1,500
今回修正予想(B)	20,900	2,850	2,840	1,560
増減額(B-A)	△900	—	90	60
増減率(%)	△4.1%	—	3.3%	4.0%
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	17,312	2,127	2,145	1,394

(注)営業利益につきましては前回発表時に未公表でありましたので—で表示してあります。

3. 修正の理由

平成19年3月期の第4四半期の業績は、売上において液晶関連の一部に次年度への期ずれがありました。利益では海外子会社を含め順調に推移し四半期業績としては過去最高となる見通しとなりました。

これに伴い、平成19年3月期通期の業績は、売上は前回予想をやや下回る見込みですが、利益は予想を上回る見通しとなりましたので、連結および個別の通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、上記予想当期純利益は、当社が保有しております台湾Chinese United Semiconductor Equipment Manufacturing, Inc.（平成18年2月20日に業務提携解消）株式の全額の評価損を特別損失として織り込んでおります。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

<産業用エレクトロニクス関連事業>

売上面は、海外向け液晶関連で次年度への期ずれ分が減少したものの、ハードディスク関連では、ハードディスク用途拡大基調に伴うメーカー各社の積極的な設備投資等により海外子会社を含め増加いたしました。利益面では、ハードディスク関連の売上増加および採算の向上等により堅調に推移いたしました。

<クリーニング関連その他事業>

国内クリーニング消費の低迷を、新製品の投入、北米を中心とした輸出拡大等により補い、ほぼ予定どおりの業績となる見込みであります。

以上の結果、平成19年3月期通期の連結売上高は224億円（前回公表予想額比2.6%減、前年同期比24.1%増）、連結経常利益は35億80百万円（前回公表予想額比7.8%増、前年同期比49.1%増）、連結当期純利益は20億90百万円（前回公表予想額比11.2%増、前年同期比39.0%増）程度となる見込みであります。

以上